他市町のPTA活動から学ぶ!!　市町連Ｐ会長会を開催しました♪

令和７年７月 26 日に、滋賀県立男女共同参画センター（近江八幡市）において、市町連Ｐ会長会を開催しました。今回は「他市町 PTA から学べる事例と情報交換」をテーマに、グループワーク形式で行いました。

第１部は、PTA 活動の取組事例として、日野町 PTA 連絡協議会の「ハロウィーンで地域の人と顔見知りに！」と近江八幡市PTA連合会の「大人も子どもも楽しめる”おうみはちまん PTA フェス”開催！」について発表いただきました。どちらも、PTA 活動の新たな可能性を感じさせる実践的な内容で、参加者からも大きな関心が寄せられていました。2つの活動事例は、令和7年7月発行の県Ｐ広報紙「みずいろ」124 号に掲載されています。

第２部は５～６名程度のグループに分かれ、この２つの発表事例から参加者の市町の PTA で実践するならどのようなことが取り組めるか、もし取り組むとしたらどのような課題が考えられるかなど、ディスカッションを行いました。他にも参加者の市町 PTA で行っている事業の紹介や、困りごとなどの情報交換も幅広く行いました。

最初は緊張していた参加者たちも、司会者の粋なアイスブレイクのおかげで、徐々に打ち解けて話すようになり、各グループからは時折、笑い声が聞こえ、拍手をする姿なども見られました。

最後は各グループで、どんな話が出たかなどを発表してもらい、参加者全体で情報を共有し合いました。

参加者からは「最初は話すこともないと思っていたが、たくさんの事例や情報に触れて多くを学ぶことができた。」「自分の市町 PTA の課題を発見でき、前向きに取り組む意欲が湧いた。」「自分の市町 PTA では、熱中症対策の取り組みの一環として晴雨兼用日傘を配布しているが、他市町 PTA では安全面からの傘の使用を制限していると知り、自分の市町 PTA の常識も、隣の市町 PTA からすると常識ではないことを強く感じた。」との声も聞かれました。

今回の市町連Ｐ会長会は、参加者に他市町 PTA の活動をより深く知ってもらい、参加者自身に多くの学びや気づきを得てもらうとともに、参加者同士の情報共有や意見交換を行うことにより、今後の PTA 活動に役立ててもらえるように工夫しました。例年とは異なる形式での開催となりましたが、終始和やかな雰囲気の中、参加者の積極的な姿勢が印象的でした。他市町 PTA の取組を知り、自分の市町の PTA 活動に活かすヒントを得ることができる大変有意義な場となりました。また、県Ｐの活動方針である「育ち合う～ともに学び、気づき合う～」「つながり合う～地域や校園を越えて～」「支え合う～みんなで子どもたちを守る～」ことの大切さを改めて実感しました。

垣根を越えた交流は、子どもたちの未来をより豊かにする力になると思います。今後もこうした「気づき」と「つながり」の場を大切にしながら、地域全体で育ち合える PTA 活動を目指していきます。